

みんなでつくった「みんなの家」が竣工式を迎えました

2013年7月10日に、岩沼市玉浦西地区の多目的施設「みんなの家」の竣工式を迎えました（写真1）。6月9日の上棟式以来、NPO法人「がんばっと!!玉浦」のメンバーをはじめ、住民のみなさんも建築と庭の施工に携わり、晴れて竣工式を迎えることができました。当日は、晴天の中、関係者や住民のみなさま約100人の方が出席され、大変な賑わいとなりました。

みんなの家には、「記憶の庭」と名付けられた庭がつけられています。ここには、①津波によって失われた家の思い出が集められた小道、②みんなの家で提供する薬膳料理のためのハーブの丘、③郷土の樹種で構成された居久根、④世界の草花をとり入れたユニークな庭など、様々な空間がつけられています。①の思い出を集めた小道では、津波で被害を受けたお宅のタイルや瓦の破片や庭石を集め、一つ一つ丁寧に敷き詰めました（写真2）。②のハーブの丘は、山元町のエルフの森の岩佐さんにご協力を頂き、小道に囲まれた小さな丘の上に、ベルガモット、ローズゼラニウム、ジャーマンカモマイルなどたくさんの種類のハーブを植えました（写真3）、③の居久根は、アラカシ、シラカシ、ヤブツバキ、コナラ、ヤマザクラなど郷土の樹種を用いて居久根の垣根をつくりました（写真4）。これにより、強い北西の風から建物を守ります。④の世界の草花をとり入れた庭では、埼玉県の安行植木の方々のご協力を得て、ブータンバンブーやソウタンムクゲなど世界と日本の珍しい草花を含め約80種を庭に植え付けました。全体として、小さいながらもみんなの想いのたくさん詰まった素敵な空間となっています。

これから、みんなの家と記憶の庭は、地域の方々の手でさらに育てられていきます。どのような場所となっていくか今からとても楽しみです！



写真2：記憶の庭の小道



写真3：ハーブの丘の植え付け風景



写真4：居久根の植え付け風景



写真1：7月10日の竣工式



写真5：完成したみんなの家の全景